

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
<p>■学力検査: 2/16(火)</p> <p>■面接・特色検査: 2/16(火) ~18(木)</p>	1/28(木) ~2/1(月)	2/29(月)	2年生の後期(3学期)+3年生の後期×2 (45+45×2=135満点)

教育のプロ
トライさん



傾向

平成25年度の大幅な変更により、受験者全員が、「内申点+学力検査+面接」を受ける。難関校は特色検査も加えられる場合がある。また、内申:学力検査:面接の割合が学校によって異なる。制度の変更とともに、学力検査の内容も変更になり、各科目で記述や論理的思考を問う問題などが多く出題される。丸暗記だけでは対応できないので、普段から物事を深く考察すること。面接では、1入学希望の理由、2中学校での教科等に対する学習意欲、3中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲を軸に評価される。また、これに加えて学校ごとの評価項目を設けている場合がある。

科目別対策

英 語

大問9問で構成。リスニング、文法適語選択、長文読解、対話文で構成され、英作文が複数出る。問題量が多いので、スピーディーに解く必要がある。特に長文読解に関しては、速読訓練が必要。近年資料の読み取り問題が多く出題されるので、過去問で対策をすること。また、頻出の論説文を中心に多くの文章を読むようにすること。文法は、特に3年生の理解度が重要となる。

数 学

大問7問で構成。この2年間の難易度は高い状態が続いている。図形の証明問題は頻出単元で、配点は10点と高い。難易度も少し高いので、繰り返し練習すること。関数も難易度の高い問題が頻出する。記述問題は全文記述の形式なので、正確な知識が必要。問1、2で44点分あるので、ここで点数を落とさないように基本的な計算・定理・公式を繰り返して練習しておく。

国 語

大問5問で構成。記述問題の多さが最大の特徴。昨年は、記述問題の文字数が倍近く増え、更には記述の能力が問われた。資料の読解問題では、複数の資料を使った記述問題、資料を読み解く力、情報を整理する力が求められる。過去問を繰り返し解き、正しい解答方法を身につけよう。漢字や慣用句、ことわざ等は教科書レベルで復習。また古文は、中世~近世の文章に多くふれて慣れておくこと。

理 科

大問8問で構成。難易度が高く平均点が37.4点と他教科との差が目立った。各分野全ての問題がバランスよく出題されるが、実験や観察が重視されており、実験結果から考察を書く問題やグラフを書く問題は頻出。用語や結果を覚えておくだけでは対応できない問題が多い。実験や観察が関わる単元を重点的に対策しておく。また、過程や根拠をしっかりと理解しながら学習を進めること。

社 会

大問6問で構成。分野別配点は地理34点、歴史32点、公民34点とまんべんなく出題され、選択問題が大半を占める。公民は記述問題が頻出。資料を読み取った上で、文字数の条件に沿って記述する。年代や用語の暗記だけでなく、日頃から資料を読み解く練習をしておこう。時事問題の対策として、ニュースや新聞を読み関心を持っておくこと。また、それらを記述する練習もしておくこと。